

あくせす

Access

NO.293

2020年9月1日

九州旅客鉄道労働組合
大分地方本部

大分市大道町1丁目8番1号
097-543-2223

発行責任者 佐藤守洋
編集責任者 竹下功人



LINE@

JR九州労組公式アカウント

ID ... @yqw2478t



第33回地本定期大会開催

8月10日(月)「全労済ソレイユ」において第33回定期大会を開催した。議長団には大分車両センター分会より池田亮二代議員、北部駅連合分会より筒井辰悟代議員が選出され、執行委員、代議員、特別代議員51名が出席した。佐藤委員長は冒頭の挨拶で「安全最優先の取り組み」「組織問題についての取り組み」「2021春闘の取り組み」について提起を行った。その後、2019年経過報告、2020運動方針(案)等が提起され、8名の代議員からの発言があり、活発な論議が行われた。川崎書記長の集約答弁では、「令和2年7月豪雨災害にあわれた方々にお見舞い申し上げるとともに、復旧作業に従事する組合員に敬意を表した。大分地方本部としてもカンパやボランティア活動等の支援を行っていく。新型コロナウイルスにより危機的な状況であるが、JR九州が発展を遂げていく為にも労使一体となってこの危機を乗り越えて行かなければならない。」と決意を述べた。全議案は満場一致で採決され、佐藤委員長の団結ガンバローで閉会した。



佐藤執行委員長



- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・運転士の日勤教育について
- ・JR九州労組新聞を全組合員に配布する必要性について



運輸センター分会
井上代議員

＜執行部答弁＞
◇職場内にパーティションの設置及び消毒液の設置を行っている。実際に新型コロナウイルス感染者が発生した場合の取扱については会社と協議し感染防止の対策を行っていく。
◇日勤教育の在り方については地本支社間で協議し課題解決を行っていく。
◇ペーパーレス化を行うにあたりJR九州労組のLINE登録者は組合員の1/10に満たない状況であるため登録人数を増やしていくことが重要と考える。

- ・スマートデバイスの管理時間について
- ・人身事故発生時に対応した乗務員の手当新設について



運輸センター分会
小橋代議員

＜執行部答弁＞
◇バッテリーの持ちが悪くなっているという問題がある為、課題解決に向けて動いていく。
◇人身事故を対応した際に対する手当については、本部上申を行い課題解決に取り組んで行く。

- ・冬季賞与の確保について



運輸センター分会
斎藤代議員

＜執行部答弁＞
◇賞与は業績に左右されるが、生活給の一部であるという認識であるため大幅な変動があってはならない。1円でも多く勝ち取って行く考えである。

- ・新型コロナウイルス感染拡大している中での分会大会開催について
- ・多車種手当及び36+3に乗務する手当の新設について



運輸センター分会
小田原代議員

＜執行部答弁＞
◇分会大会の開催時期については新型コロナウイルスの関係もあるので臨機応変に対応して頂きたい。
◇多車種手当について労働協約改定交渉でも最重要項目として求めてきましたが課題解決には至っていません。引き続き取り組みを強化していきます。

- ・24時間超え行路の拘束時間の限度明文化について
- ・高齢者行路の定義及び配慮について



運輸センター分会
高原代議員

＜執行部答弁＞
◇拘束時間の限度を明文化するよう労働協約改訂交渉の中で求めてきたが解決には至っていない。引き続き取り組みを強化していく。
◇高齢者行路の定義は早朝と夜間のソニック号の乗務を少なくしていることとの回答がある。地本として高齢者に配慮した行路は要求していない。

- ・高城寮冷房設備の更新について



青年女性委員会
高良特別代議員

＜執行部答弁＞
◇どのくらいの頻度で冷房設備の更新が行われているか現在把握できていない状況の為、調査を行ない対応していく。

- ・豪雨や強風時の災害が予測出来る場合計画運休について
- ・JRK活動の労働時間化について
- ・今後の組合員の育成について



車掌センター分会
横山代議員

＜執行部答弁＞
◇計画運休についての考え方は把握出来ていない為会社と協議していく。
◇JRK活動については自分の時間で行っており時間外労働とし認められていない。しかし業務改善に必要な活動と考えている為、会社と協議していく。
◇若手組合員の育成について青年女性委員会を中心に役員を育てる環境を整備していかないといけない。地本としても教育部を中心に議論していく。

- ・牧駅からの指定通路新設について



運輸センター分会
甲斐代議員

＜執行部答弁＞
◇女性乗務員も含め最終列車で牧便乗で車両センター乗泊に歩いて行くため危険な状況であるということで交渉を行っていたが8月8日の訂補から2人で車両センターに歩いて行く行路に変更されている。